

コロナ禍における バングラデシュの現状

～ オンラインとオフラインの境界を越えて～

株式会社miup

足立 健太郎

k.adachi@miup.jp

<https://www.facebook.com/myshebaBD>

目次

- ① 自己紹介
- ② バングラデシュと弊社の現状
- ③ ビジネスを通じて感じた
オフラインとオンラインの境界

①自己紹介

人生23年目より、いきなり富山での実家暮らしからバングラデシュ駐在へ。

1996年
富山県出身

2019年3月
富山大学
看護学科卒業
看護師国家資格取得

2019年4月
株式会社miup
入社

2021年6月(3年目)
オペレーション
マーケティング
マネジメント
営業

人生22年間の実家暮らし

人生23年目からバングラデシュへ



② バングラデシュと 弊社の現状

コロナ禍でも変わらぬバングラデシュの渋滞



ロックダウン中で交通制限が
されている中でも起こる渋滞。



街中に入り歩き出すと人同士がぶ
つかりながらの移動。

弊社が行っているPCR検査での厳しい環境



PPEを着用し行われているPCR検査。毎日数箇所を巡り、何百件も検体採取を行う。



可能な限り距離を取りつつ、PPEを着用した状態で何時間も検体採取を行うことも。

弊社サービス一覧

- 国内用PCR検査(日系企業からの要望が特に強い)
- 国外用PCR検査(バングラデシュ出国時に必要なPCR検査)
- 職場感染管理防止のコンサルティングサービス
- 遠隔診療サービス
- 健康診断サービス
- その他の血液検査等のサービス(配達形式でも提供可能)

* 赤文字はコロナ禍に伴い開始したサービス

赤文字のサービスはインド株もあり**需要急増**

バングラデシュの人たちの習慣に合わせた (ローカライズした)弊社での遠隔診療サービス



my sheba
Japan medical center
Call for Booking
01708008205

DOCTOR/SPECIALIST
CONSULTATION

Why don't you manage your
health on your hand?

Medicine Specialist, Gynecologist, Cardiologist... You can consult with over 10 kinds of specialist



বাবার
জন্য

পরিবারের সাথে
অনন্দ উপভোগ
করুন এবং কাজ
করুন সক্রিয়তার
সাথে

চিকিৎসক/বিশেষজ্ঞের
পরামর্শ

কীভাবে নিয়ন্ত্রণ করবেন আপনার
এবং আপনার পরিবারের
সদস্যদের শারীরিক অবস্থা ?

কম্পিউটার বিশেষজ্ঞ, পরিচালক/সিনিয়র ডাক্তার/স্পেশালিস্ট...
আপনি শরীরিক স্বাস্থ্যে সক্রিয়তা বৃদ্ধি করুন

my sheba
Japan medical center

০১৭০৮০০৮২০৫



my sheba
Japan medical center

JAPANESE
QUALITY

PATIENT
FRIENDLY
REPORT

DOCTOR
CONSULTATION

PREMIUM CARE
PERSONAL
TOUCH

017 08 008 205
013 00 245 986

Center Location
Ra. H-3/2 & B, Wazirpur W & Tower, 2nd Floor
Gulshan South, 12th Road
Project: Starlink/MySheba/Sheba/Sheba-1212



my sheba
Japan medical center

স্বাস্থ্য সেবা
নিয়ে আমরা আছি
আপনার পাশে

<https://www.my-sheba.com/jpb> f @FB.com/myshebaBD

my sheba Japan Medical Center ☎ +88 01810-008850

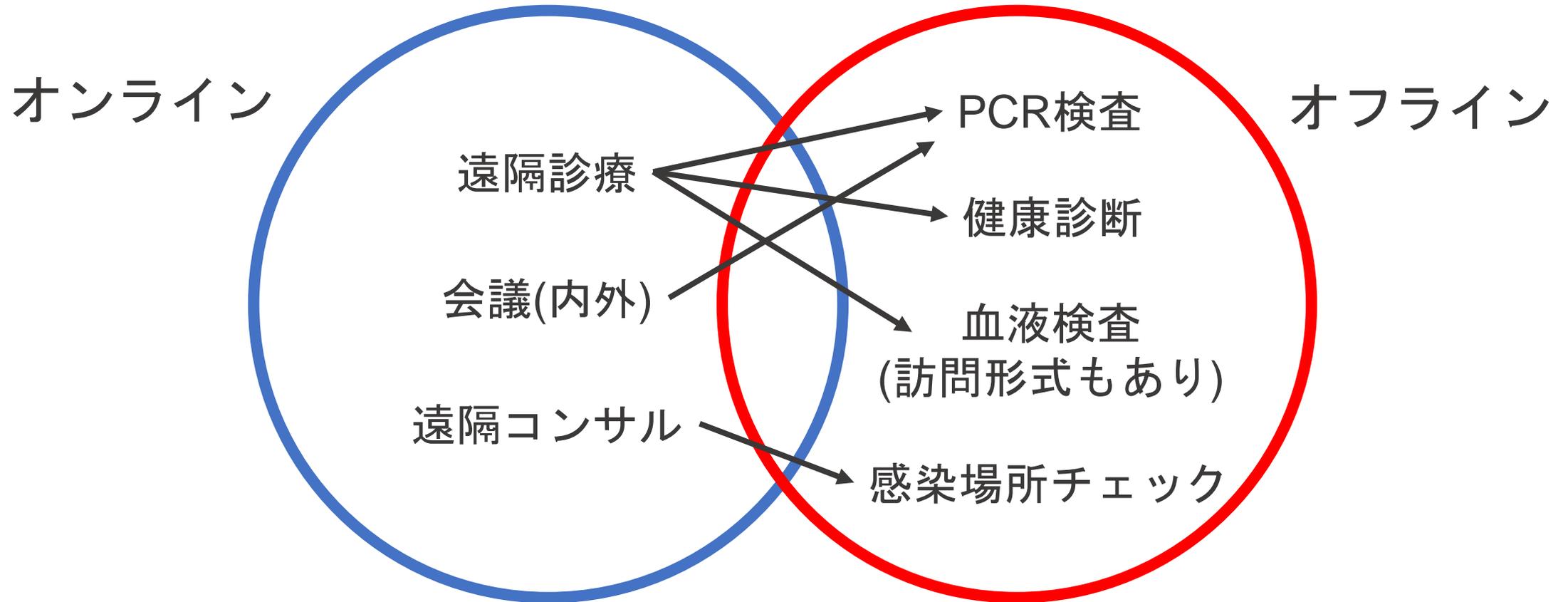
- ・バングラデシュで人気のSNS
1位 : Facebook(Messenger) 圧倒的
その他 : WhatsApp, imo, Skype, Instagram &
LINE

モバイルを通じて1番行われている行為
→家族や友人への電話やビデオ通話。仕事中
もお構いなく1-2時間おきに電話を受けるこ
ともある。

→弊社では顧客の要望(WhatsAppでの対応)に
応じて遠隔診療サービスを行なっている。1番
利用率が高いのは音声のみの遠隔診療で、そ
の後の処方箋を顧客が要望したSNSに送ると
いった流れが圧倒的に多い。

③ ビジネスを通じて感じた
オフラインとオンライン
の境界

弊社で行っているサービスや業務のオンラインとオフラインの組み合わせ



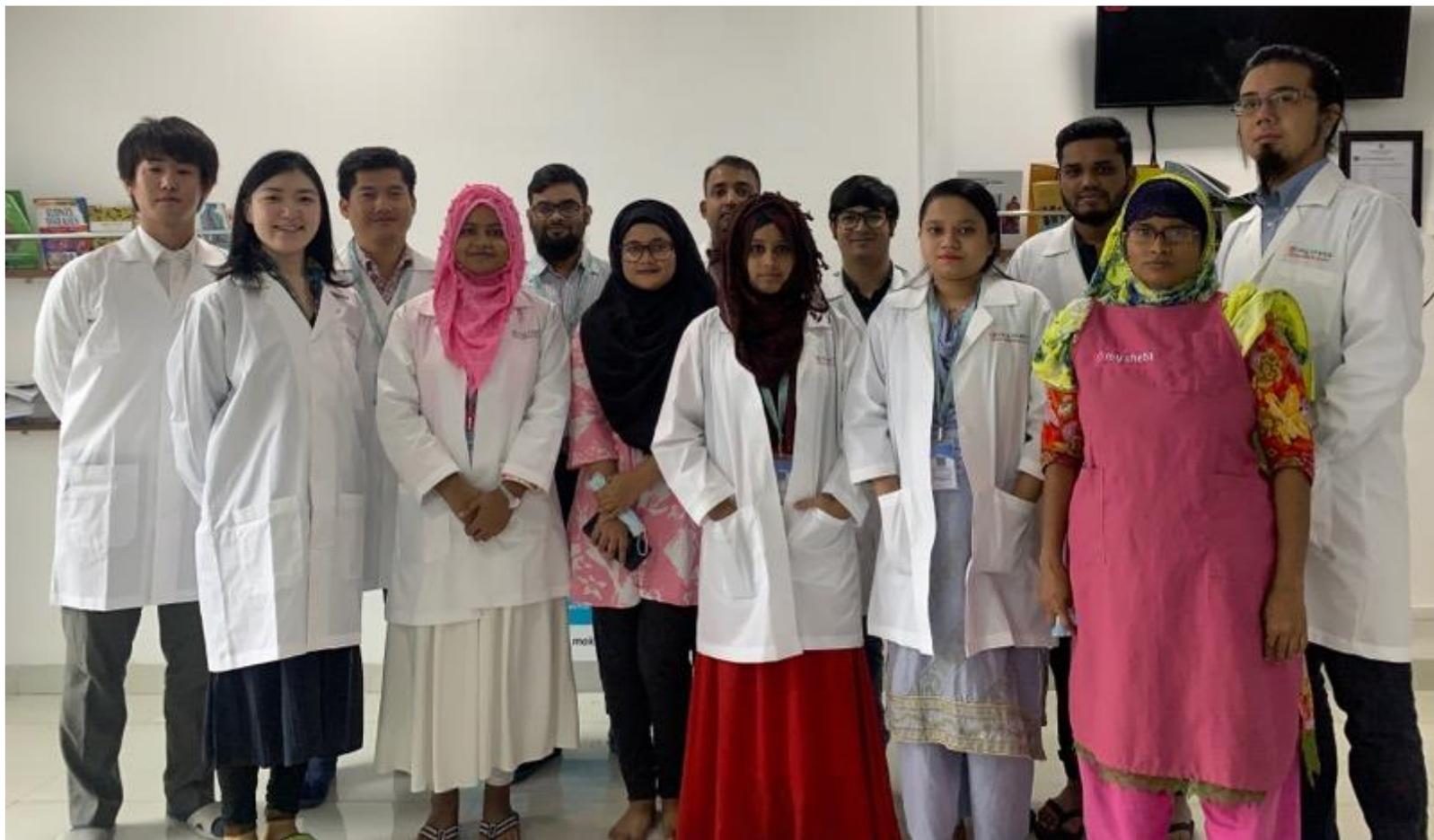
上記のように、サービスの入り口はオンラインであっても、最終的には、オフラインにて顧客ニーズに応える形が多いのが現状。

オンライン・オフラインを組み合わせることにより、より包括的にコロナ禍での医療不安を解決していくことが可能になる。

- ・ 不要不急の価値観が人それぞれであること。
→外で行う必要のある仕事や買い物など。
- ・ 医療における最終ラインは、オフライン対応が不可欠なケースが多いこと。
→手術やX-rayや血液検査など。
- ・ まだまだ対面にて醸成される人間関係が多いこと。
→仕事においても、プライベートにおいても。

今後、途上国であってもオンラインとオフラインを融合した(OMO)ビジネスが加速していくのではないかと考えられる。

ご静聴ありがとうございました。



現地従業員(一部)との写真

<https://www.facebook.com/myshebaBD>